

アル・アクサ洪水第677日目：カッサムが2人の兵士を殺害、イスラエルがジャーナリストを殺害した背景が明らかに

Palstine Chronicle、2025年8月12日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



ガザでイスラエルの空爆により、市民防衛団職員が負傷した。(Photo: via social media)

主要事項

*アル・カッサム旅団はイスラエル兵2人を狙撃し、ガザ回廊の北部と南部のイスラエル軍の占領拠点2か所を砲撃したと発表した。

*アッシーファ病院のモハンマド・アッサルミヤ院長は、アル・ジャジーラのジャーナリストを殺害したのは、イスラエルによる大虐殺に関するメディア報道を防ぐ措置の一環であると言った。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエルの攻撃による死亡者は61,499人で、負傷者は153,575人となった。多くは女性と子どもである。

最新情報

8月12 11:50 pm (パレスチナ時間)

*パレスチナ・クロニクル：ネタニヤフのガザ市占領計画の前にはガザ回廊全体を占領する計画があった。彼がガザ回廊全体占領計画を放棄したのはエヤル・ザミール参謀総長の反対のためであった。ムニール・シャフィクの小論を読まれたい。[\(Munir Shafiq, "Why Did Netanyahu Suddenly Back Down from a Full Occupation of Gaza?" Palstine Chronicle, August 12, 2025\)](#)

8月12日 11:36 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル人調査ジャーナリストのユヴァル・アブラハムによると、イスラエル軍情報機関は、ジャーナリスト殺害を含む軍のガザでの行動を正当化する使命の特殊部隊を設立した。

8月12日 11:08 pm

*アンサールッラー軍事部門報道官：我々はハイファ、ネゲブ砂漠、ウンム・アッラシュラッシュ、ベエル・シェヴァの「イスラエルの拠点」を叩く攻撃に成功した。この4つのパレスチナ占領地（イスラエル）の重要拠点の攻撃はガザ連帯の表明である。

*米務省：米国はイスラエルにガザで何をなすべきか、誰をガザに入れるか入れないかを指図する気はない。

*英国メディア：英国の国連次席常駐代表代理は、ガザにおけるジャーナリスト攻撃に深い懸念を表明し、包括的な独立調査を求めた。彼女はジャーナリストを殺害標的にすることはあってはならないことだと強く言った。

*アル・ジャジーラ：ヒンド・ラジャブ財団の理事長はアル・ジャジーラに対して、国際刑事裁判所はイスラエル政府のジャーナリスト殺害承認を無視してはならず、イスラエル軍指導者らに刑事責任を負わせるべきだと語った。

*パレスチナ・メディア：病院筋の報告によると、今日夜明けからのイスラエル軍のガザ各地への攻撃で、71人のパレスチナ人が死亡した。

8月12日 9:26 pm

*カン：軍の人事の承認のための会合が予定されていたにも関わらず、エヤル・ザミール参謀総長はカツ国防大臣の執務室への入室を拒否された。

*ホワイトハウス：ホワイトハウスは、ガザ戦争への関わりは「非常に複雑」で、これはバイデン前大統領から引き継いだものだと述べた。米国は戦争終結に向けて努力をしてきたが、ハマスが米国の提案に同意しなかった、と主張した。

*アル・クッズ旅団：我々はハーン・ユニス中心部のアル・カティバ地区へ侵攻するイスラエル軍車両を高性能貫通爆薬弾で破壊した。

*アクシオス：情報筋によれば、イスラエルが、戦争終結と人質の全員解放のための包括的合意を目指す交渉を再開する努力の一環として、今週後半に高レベルの代表団をドーハへ派遣することを検討している。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相はI24ニュースに対し、部分的合意は「過去のこと」だと述べ、ハマ스에騙されたことと主張した。彼は、イスラエルの条件で戦争を終わらせるための一環として、人質全員の返還を求めると言った。彼は、最終的決定を下すのは自分で、これまで自分が下した決定はすべて正しく、国民は彼が安全、安定、平和をもたらすと思っていると述べた。

8月12日 7:49 pm

*オランダ外務省：オランダ外務省は、ガザ市のメディアのテントを攻撃して、アル・ジャジーラ記者のアナス・アッシャリフを含む6人のジャーナリストを殺害したことに関して、納得のいく説明をイスラエル大使に求めた。

*イスラエル・メディア：イスラエル空軍予備役兵たちが、捕虜交換を合意せよと要求して、国防省前でデモと集会を行った。

8月12日 6:17 pm

*アル・クッズ旅団：アル・クッズ旅団の野戦指揮官は、ガザ東部の地雷敷設地帯からイスラエル軍が部分的撤退をした後、敷設地帯に約52台のイスラエル軍車両の残骸があったと述べた。

*レバノン保健省：イスラエルの無人機が南レバノンの町ナクーラを攻撃し、民間人2人が負傷した。

*ヒンド・ラジャブ財団：アル・ジャジーラ記者アナス・アッシャリフ殺害の責任は、参謀総長、空軍司令官、南方面軍司令官を含む6人のイスラエル軍司令官にある。

8月12日 5:09 pm

*パレスチナ・クロニクル：環境活動家のグレッタ・トゥーンベリやネルソン・マンデラの孫のマンドラ・マンデラなど44カ国の活動家たちが、今、ガザ封鎖を突破するための「民間人による最大規模の海洋ミッション」の準備をしている。

8月12日 5:05 pm

*イスラエル国連大使：イスラエル国連大使は、イスラエルがパレスチナ人囚人に性暴力を行ったという抗議を書いた書簡を、グテーレス国連事務総長から受け取ったと述べた。

8月12日 4:03 pm

*イスラエル・メディア：目撃者の話では、イエメンから発射されたドローンをイスラエルの迎撃ミサイルがエイラート上空で迎撃するのを見たという。

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省のムニール・アル・ブルシュ局長はアル・ジャジーラに対し、これまで援助物資を待っているときに殺害された人の数は1,750人となり、また今年にはいつから28,000件以上の栄養失調が発生し、500人の乳児が飢餓による栄養失調で入院していると、語った。

*WHO：世界保健機関 (WHO)は、ガザの破局的保健状況に対処するために、ガザに医療物資の備蓄を認めるように要請した。

*ベルギー全国労働組合：ベルギー全国労働組合は、2023年10月以降イスラエルがガザと西岸地区でジェノサイドと国際法違反行為を繰り返していることをあげて、テルアビブ行きの便の取り扱いをやめるように、ブリュッセル空港労働者に呼びかけた。また、イスラエルとの関係正常化に反対する労働者への支持を改めて表明した。

*アル・カッサム旅団：我々は、2025年7月4日に、ガザ市のアル・シェジャイヤ地区東で、ヤシン105砲を使ってイスラエルのメルカヴァ戦車を攻撃した。また、7月5日には、同じ場所で、イスラエル兵が占拠して陣地としていた住宅を攻撃して、兵士数人を死傷させた。

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院のモハンマド・アブ・サルミア院長はアル・ジャジーラに対し、ガザの飢餓は危険な段階に達し、あらゆる年齢層に影響していると語った。栄養失調で危険な状態の5歳未満の子どもは35万人もいると言った。

*イスラエル医師組合：我々は人質家族会が呼びかけた日曜日のゼネストに参加する。このゼネストは、ネタニヤフ政権に停戦と捕虜交換の合意をせよと迫る目的のストである。

*アル・ジャジーラ：ガザ市民防衛団は、ハーン・ユースのアル・マワシ地区へのイスラエル無人機の攻撃で、14人が負傷したと報告した。

*ガザ保健省：この24時間で死者100人と負傷者513人が病院へ運び込まれた。2023年10月7日以降の犠牲者数は、死者61,599人、負傷者154,088人となった。

8月12日 1:38 pm

*パレスチナ・クロニクル：イタリアのグイド・クロゼット国防大臣は、イスラエルのガザ占領を「容認できない」と非難し、ネタニヤフ政府を領土征服を追求し、「理性と人間性を失った」と非難した。

8月12日 1:28 pm

*アル・ジャジーラ：ガザ医療救援局のモハンマド・アブ・アフアッシュ局長はアル・ジャジーラに対して、救援物資空中投下は人命を救うどころか、人々の死や怪我を招いていると語った。彼は、空中投下では飢餓救済にならず、無秩序な奪い合いを助長し、物資が困窮者に届く前に犯罪グループに略奪されると述べた。それに、空中投下では少量しかガザに入らないと強調した。

*ガザ市民防衛団：市民防衛団は、アル・マワシ地区の団員のテントへのイスラエル軍の攻撃で両親ともども死亡した団員を悼んだ。防衛団はイスラエル軍によって殺害された団員の数は137人となったと発表した。

*アル・ジャジーラ：アル・アクサ殉教者病院の報道官ハリール・アッダカクランは、イスラエル軍が幼児用粉ミルクのガザ搬入を止めており、ガザにかろうじて入る物資はそれを必要としている人々のもとに届かないと述べた。彼は、約30万人が慢性疾患を抱えており、その多くが栄養失調で死亡していると言った。

*チャンネル12：イスラエル軍のガザ作戦拡大前の計算では、それに必要な兵員数に対して約1万人不足であると発表した。さらに、軍は、外国の企業のイスラエル・ボイコットののために、軍用車両のスベアパーツが不足していると述べた。

*アル・ジャジーラ：病院筋の報告によれば、今日夜明けからのイスラエル軍のガザ各地への攻撃で、50人のパレスチナ人が死亡した。

*イスラエル軍ラジオ放送：予備役大将のニムロド・シェフェルは、この2年間イスラエルは前例のない規模の軍事力をガザに投入したが成果がないことを指摘し、この戦争には利益がなく、害しかないと言った。

*アル・ジャジーラ：ガザ市民防衛団はアル・ジャジーラに対して、ガザ市南東部のアル・ザイトゥーン地区の住宅へ空爆で、28人が死亡したと言った。

8月12日 12:00 pm

*アル・ジャジーラ：病院筋の報告では、今朝からのイスラエル軍のガザ各地への攻撃で、45人のパレスチナ人が死亡した。

8月12日 11:12 am

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省は、この24時間で子ども2人を含む5人が飢餓による栄養失調で死亡したと発表した。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院は、6歳のジャマル・アンナジャールが飢餓による栄養失調で死亡したと発表した。

*イスラエル・ハヨム紙：アントニオ・グテーレス国連事務総長がイスラエルの国連大使に向けて出した書簡には、イスラエル人警備員によるパレスチナ人囚人への性的暴力への懸念が表明されている。

*アル・ジャジーラ：アル・アウダ病院の報告によれば、ネツァリム軸近くで援助物資を待っていた民衆にイスラエル軍が発砲し、パレスチナ人3人が死亡し、数人が負傷した。

*ロイター通信：オーストラリアのアンソニー・アルバニーズ首相は、ネタニヤフがガザの人道危機を否定し、彼の政府が同盟国の言うことに耳を貸さないので、オーストラリアはパレスチナ国承認決定をしたと言った。

*カン：イスラエル軍は、カツ国防大臣の反対を押し切って人事リストを発表した。エヤル・ザミール参謀総長は国防大臣と事前調整しなかった。

*アル・ジャジーラ：英国の無所属議員のジェレミー・コービン¹は、パレスチナ人ジャーナリストの殺害は「実に忌まわしい」と述べ、自分たちの人道に対する罪を隠蔽しようとするあがきだと言った。

*アル・ジャジーラ：イスラエル機の集団がハーン・ユニス北のアル・アマル地区とアル・カティバ地区を爆撃した。さらに、イスラエル軍はヌセイラト難民キャンプの北とハーン・ユニス中心部を砲撃した。

8月12日 1:40 am

*パレスチナ・クロニクル：アル・カッサム旅団はイスラエル兵2人を狙撃し、ガザ回廊の北部と南部のイスラエル軍の占領拠点2か所を砲撃したと発表した。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ自治政府（PA）保安隊は、西岸地区北部のトゥルカルム市出身の釈放された囚人アラア・アッディン・ハムダンを逮捕した。

*パレスチナ・クロニクル：アッシーファ病院のモハンマド・アブ・サルミヤ院長は、イスラエルがアル・ジャジーラの記者たちを殺害したのは、自分たちが行っている大虐殺のメディア報道を防ぐ措置の一環であると述べた。

8月11日 11:58 pm

*英国中東担当国務大臣：アル・ジャジーラの記者5人の殺害を含め、ガザでジャーナリストが標的にされて殺害されているのは、極めて憂慮すべきである。ガザで取材活動をやるジャーナリストは最前線で命がけである。イスラエルはジャーナリストの安全を確保しなければならない。

*アル・ジャジーラ：フランスの大統領顧問はアル・ジャジーラに対して、次のように述べた。「我々はガザでジャーナリストの殺害を非難し、イスラエルにジャーナリストが自由で安全に活動できるように国境を開けと要望する。ジャーナリストの命は保護されるべきで、我々は実際に起きたことを非難する。」

*ガザ市役所：イスラエルのガザ市占領計画は地域と世界の平和と安定への挑戦である。我々は国連、国際司法裁判所、すべての国々にガザ侵攻を止める行動に立ち上がることを求める。民間人の保護、家屋やインフラ破壊の停止、すべての国境クロッシングの即時開放を求める。

*アル・ジャジーラ：EUのカヤ・カラス外務政策上級代表は、「イスラエルのガザ市への空爆で5人のアル・ジャジーラ記者が死亡したことを非難する」と言った。

¹ 2024年5月に党首を務めた労働党から除名された。

